



志・感動・笑顔 3つの「あ」を大事に
～あきらめない ありがとう あいさつ～

楯岡小学校だより No.7
令和5年10月25日(水)
【文責:校長 井上敏春】

たてやま

楯岡小 Web ページ
QRコードから
バックナンバーも
ご覧ください。



10/24～二十四節気「霜降(そうこう)」朝に霜が降り、草木が白く化粧する頃。山々を紅葉が美しく彩り始める。

志・あきらめない心 大事に 「やらぬ後悔より、やって後悔」

10月10日(火) 令和5年度後期始業式。後期は、来年3月18日(月)に卒業を迎える6年生と在校生代表で式に参加する5年生は100日間、1～4年生は、3月15日(金)の修了式が最終日となり99日間あります。



後期始業式では、創立150周年の記念すべき年に在籍した一人として、特に自分自身の未来に向かって“志・あきらめない心”について、以下のような内容で話をしました。

これから10年、20年先の未来はどんな世界になっているのでしょうか。各家庭にテレビがなくて当たり前の時代、白黒からカラーテレビに代わった時代、ダイヤル式の黒電話がプッシュ式のカラフルな電話に代わった時代…が懐かしい大人たちにとって、子供の頃に観た映画やマンガ、中でも“ドラえもん”の世界が現実になっているものが数多くあります。

例えばその一つに「スマートフォン」があります。ある携帯電話会社が今年4月に発表したデータでは、その普及率は2010年で約4%でしたが、2023年には96%を超えたそうです。つまり、小学生にとっては「スマートフォン」がある今、この世界が当たり前ののです。

現在の私たちの生活の中でスマートフォンは電話であり財布であり、計算機、テレビ、辞典・辞書、図書館・博物館・美術館、学校…であり、世界中の誰とでもつながる何でもできる「携帯型コンピューター」です。さらに「腕時計型スマートウォッチ」で、電話もできる時代です。

しかし、人類が求めてきたこの便利な世界には、不安要素が多々生じているのも事実です。その一つが「人工知能・AI」の進化によって10年後には、今ある仕事の半分はなくなるといわれています。そしてもう一つは、今、若者といわれる人の多くが、自分で失敗、間違い、負ける、悔しい・恥ずかしい思い…をしたくない。だから自分では何もしない、他の人にしてもらおう、ゲーム以外は他と競わない、困ること・苦しいこと・悩むこと・泣くようなことは自分からはしない…という選択をする若者が非常に多くなっているということです。

「人工知能・AI」は、人間が「成功、勝ち、喜びなどのパターン」と、その陰に存在する「失敗、負け、悲しみ、苦しさ、悔しさなどのパターン」をインプットし、最も正しいと考えられる選択を導き出します。これは人間も同じで、例えば、自分が思い描く成功等に至った人は、AIほどではありませんが、自分自身で何度も失敗して、間違っ、悔しい思いをして、泣いて、何度も挑戦して、失敗や間違い、苦しさや悔しさをいっぱい、いっぱい経験して、その中でようやく見付けた、ただ一つの成功や正解、勝つ喜びなどを手にしているのではないのでしょうか。

後期は、自分の「志」をしっかりともち、「失敗」「間違い」「恥ずかしい」「困った」「できないこと」に悩み、苦しみながらも、一人一人が「あきらめず」に行動してほしいと願います。そしてその姿を、ともに励まし合い、支え合う楯岡小の皆さんであることを期待しています。

校長式辞の感想を寄せてくれました。

【4年 _____ さん】

校長先生の話聞いて、これから後期100日の中で、「志」を目標にして生活しようと思いました。自分であきらめずに、失敗してもまたできるまで最後まで勉強に取り組みたいです。他の人に任せなくて、自分で努力していくといい、ということがお話を聞いて分かりました。

【4年 _____ さん】

ぼくは校長先生から、今「AI」が人間よりも進化してきていることをお聞きしました。もともと人間は、分からないことに挑戦してきて、今のようないい生活をつくってきたけれど、失敗をおそれて自分で何かをやれない人が増えていることを知りました。『やらぬ後悔より、やって後悔』ということわざが心に残りました。





ねばり強く、心と体鍛えた 相撲学習とマラソン記録会

9月中旬から下旬にかけて取り組んだ各学年の相撲学習では、各学年の実態に応じて、まわしを付ける最初の学習から対戦取組をするまで6時間ほどの学習計画を立てました。また、天候や各学年の発達段階に応じて、体育館やグラウンドで実施しました。どの学年のどの時間においても、必ず保護者の方の参観があり、子供たちもとても張り切っていました。

実際、お友達と対戦する取組が始まるとコロナ禍の3年間の影響はとても大きいとつくづく思いました。自分と友達の体を合わせることで、友達の体を押ししたり引いたり、反対に友達から自分の体を押されたり引かれたり、倒されたり…などの経験がほとんど無いため、指導する側も苦労したようです。各ご家庭でも稽古を付けてくださったことと思います。回を重ねるごとに上達がみられ、相撲のおもしろさを体感していったお子さんがとても多くみられました。「経験」と「積み重ね」の大事さをつくづく感じた相撲学習となりました。

10月に入ると冬に備えた体づくりの一環として、マラソン学習に励みました。10月中旬には学年ごとに記録会を行いました。今年度から、各学年の走る距離（1年400m、2年600m、3・4年800m、5・6年1200m）を見直して、誰もが無理のない速さで走りを持続させ、しっかりと最後まで走り切れる距離としました。記録会は雨のため一部延期もありましたが、予定した10月中旬には各学年のマラソン記録会を実施することができました。相撲学習同様、どの学年でも保護者の皆様が多数応援に駆け付けてくださり、子供たちも最後までねばり強く走り切ることができました。コロナ禍を経て様々な見直しを図って実施したところですが、保護者の皆様のご理解とご協力により、子供たちの一人一人に大きな成長を感じた学習となりました。誠にありがとうございました。

楯岡元気なまちづくり協議会より 登下校の安全を守る反射材贈呈

9月21日（木）楯岡元気なまちづくり協議会 鈴木 悟会長さんから、1年生に夜光反射材のキーホルダーが贈られました。この日からは秋の交通安全運動も始まり、さらに丁寧に登下校の安全指導を行うことができました。子供たちはきらきら光る星形のキーホルダーをかばんに早速取り付けていました。車のライトが点灯し始める薄暮時の事故が最も多いそうです。子供たちには、その時間帯の前に帰宅するよう指導しています。

先日、地域の方から「横断歩道で車を止めたら、渡り終えた子供たちが丁寧にお辞儀をして通って行った。なお一層安全運転に気を付けます。」という声があり、とてもうれしくなりました。

一方で子供たちの自転車乗りを心配する声も寄せられます。「丁字路で、左右確認なしで急に飛び出てきた。」「横断歩道は自転車を引いて渡ってほしい。」子ども会育成会との約束で、自転車乗りは初雪が降るまでとしています。これからも子供たちの安全を学校・家庭・地域みんなで守っていきましょう。



特別支援学級用図書30冊寄贈 ありがとうございました！

10月11日(水)日本教育公務員弘済会山形支部様から、特別支援学級の児童用図書を30冊いただきました。様々な分野の図書に親しみ、読書の幅を広げてほしいと思います。



さわやかな秋晴れの下 豊かな自然と人の温かさにふれる

10月12日(木)2年生生活科の学習で大倉地域市民センター及び旧大倉小学校周辺をフィールドとした「大倉学校」でたくさん学んできました。大倉元気なまちづくり協議会の皆様を中心にたくさんの地域の先生方が協力して

くださり、大倉ため池周辺を散策したり、大倉ため池の伝説や大倉地域の歴史などを伺ったりしました。旧大倉小学校跡地では虫捕まえをしたり、竹笛を吹いたりして、体と心いっぱい学びました。豊かな自然と笑顔で見守ってくださる地域の方とのふれあいを楽しんできました。楯岡小学校区の自然の豊かさ、地域の皆様の温かさを感じた一日でした。

あいにくの雨にも負けず PTA総務・6年生 甕岳登山

10月15日(日)PTA総務委員主催の6年生親子甕岳登山を行いました。当日はあいにくの雨の中ではありませんでしたが、途中600m付近の栗林を目指して、雨にも負けず登りました。参加した6年生の元気な歌声や甕岳頂上までの登頂を望む勇ましい声もありました。しかし、決して無理をしない潔さも大事な勇気の一つであることを学びました。雨露に濡れ、少しずつ色付き始めた紅葉を見ながら、さわやかな登山となりました。企画してくださったPTA総務委員の皆様、参加してくださった保護者の皆様、元気はつらつの6年生、ありがとうございました。



コロナ禍を経て久しぶりに集う 「村山市小学校文化交流会」

10月20日(金)「村山市小学校文化交流会」が行われました。コロナ禍前は「音楽会」としていた名称を今年度から「文化交流会」と変え、市内7つの各小学校で行われている様々な教育活動を互いに発表し合いました。



4年ぶりの開催となりましたが、村山市内小学校の2～5年生、約200名が集い、各校保護者の方々も参観していただき、久々の交流会を楽しみました。本校からは4年生が代表として参加しました。日頃の学習の成果を生かした息ピッタリの合唱と合奏にたくさんの拍手をいただきました。他に音楽発表で参加したのは戸沢小、大久保小、西郷小の4校。富並小は和太鼓「山ノ内太鼓」、袖崎小は「ダンス」、富本小は伝統芸能「大黒舞」を発表しました。各校の特色を生かしたバラエティに富んだ発表はどれもすてきでした。

創立150周年記念 被爆ピアノ/平和コンサート開催

心にまかれた「種」が、平和の「実」になることを願って

10月24日(火)に、被爆ピアノ管理所有者・調律師の矢川光則さん(広島市)、演奏者の小林路子さん(山形市)、被爆ピアノコンサート in YAMAGATA 実行委員 神保由美さんをお招きして開催しました。矢川さんは調律師の仕事に携わり、被爆ピアノと出会いました。平成2005年(平17)から47都道府県すべてを訪れ、その音色を通して、人々に平和の種をまく活動を行っています。楯岡小児童一人一人の心にまいていただいた種が、やがて芽を出し、根、茎、葉…そして花が咲き、平和の実となることを期待しています。



また、被爆ピアノ演奏を希望した児童5名(2年 ___さん、3年 ___さん、4年 ___さん、5年 ___さん、6年 ___さん)による出演もありました。各自の思いが詰まった1曲を披露していただき、さらにすてきな時間となりました。ご来場いただいた保護者の皆様も、誠にありがとうございました。

児童代表 お礼の言葉 (一部抜粋・省略あり) 【集会委員長 6年 ___さん】

被爆したピアノの音を聴くのは、今日が初めてです。小林さんや友達の演奏を聴きながらぼくは戦争について考えていました。今日のコンサートに向けて原爆に関係する本を読んだり、矢川さんのお話をお聞きしたりして、今から七十八年前に広島県で起きたことについて知ることができました。ぼくが読んだ本は『ヒロシマのピアノ』(文研出版、指田和子・文/坪谷令子・絵)です。この本を読んで、原爆は一瞬でたくさんの命を奪ってしまうこと、被爆ピアノは原爆を耐え抜いた奇跡のピアノだと知りました。今日のコンサートで「戦争は二度と起こしてはいけない」と強く感じました。今日の演奏をこれからも忘れずにしたいです。そして、今ある「あたりまえ」に感謝しながら、日々、生活していきます。

立冬 11/8、小雪 11/22

11月の行事予定

日	曜	給食	関係行事
1	水	○	フッ素洗口 クラブ活動
2	木	○	
3	金	—	文化の日
4	土	—	
5	日	—	
6	月	○	学校集金振替日
7	火	弁	教職員研修(地区教育研究会)のため午前授業
8	水	○	朝会 フッ素洗口 学校保健委員会 18:30~[PTA総務・母親委員等]
9	木	○	尿検査 児童代表委員会
10	金	○	
11	土	—	やまがた教育の日 むらやま教育のつどい&未来フォーラム
12	日	—	
13	月	—	振替休業日(11/18の分)
14	火	○	自動車文庫
15	水	○	木曜日課 児童集会 パワーアップ週間~22日朝まで

日	曜	給食	関係行事
16	木	○	水曜日課 フッ素洗口 児童委員会
17	金	○	むらやま教育の日
18	土	—	たてやま学習発表会
19	日	—	合唱部やままる祭出演[11:00~リンクむらやま]
20	月	○	白鷹・深山和紙体験[6の1]
21	火	○	白鷹・深山和紙体験[6の3] 自動車文庫
22	水	○	指導主事招聘授業研究会 フッ素洗口
23	木	—	勤労感謝の日
24	金	○	白鷹・深山和紙体験[6の2] 楯中学区連絡協議会教職員研修
25	土	—	楯中学区子ども交流事業[6年] PTA学年行事[5年]
26	日	—	
27	月	○	職員会議
28	火	○	薬物乱用防止教室[6年、3・4・5校時] 自動車文庫
29	水	○	フッ素洗口 土砂災害学習[6年、4・5校時] 児童委員会
30	木	○	

11/24(金)の下校時刻を13:30ごろに変更させていただきます。家庭向け別におたよりでお知らせします。

【参考】12月の主な行事予定(10/25現在)

- 12/ 5(火) 学校集金振替日
- 23(土) ~1/ 8(月) 年末・年始休業
- 23(土) 合唱部クリスマスコンサート [市民会館]